



戸隠神社中社

まちなみウォッチング「戸隠(中社周辺)」の報告です。30名が参加しました。

長野市教育委員会文化材課の塚原様に戸隠の歴史・伝統的建造物群保存地区制度と街なみ環境整備事業を活用した歴史的町並みの保存についてのレクチャーをしていただき、引き続いて、塚原様、高倉様、都市整備部歴史的まちなみ整備室の石黒様、3人に中社周辺の案内をしていただきました。

戸隠信仰は、古代以来の地主神で水を司る九頭龍神に対する信仰と平安時代以降の修験道が習合して発展した。平安時代末には学門行者が戸隠山を開山し、現在の奥社、中社、宝光社につながる三院(奥院[本院]、中院、宝光院)が整えられたのは、11世紀後半から末にかけて設けられたとされている。明治維新により神仏判然令が発布されると、明治元年に戸隠神社が発足し、旧衆徒はすべて僧から神官となった。戸隠では近代以降も御師の活動が継続することとなり、古くからの宿坊が維持されるとともに、近代以降も旧来にならった宿坊が建てられ、近世の門前町としての町並みを維持することができた。平成29年2月に県内では7地区目、宿坊群としては全国で初めての伝統的建造物群保存地区とされている。平成24年中社区・宝光社区をはじめ、各種団体が参画して「戸隠中社・宝光社区まちづくり協議会」が発足し、地区住民の意識向上を図って歴史的遺産を活かしたまちづくりを推進するための活動がなされている。長野市では伝統的建造物群保存地区制度と街なみ環境整備事業を活用した歴史的町並みの保存について進めている。

伝建制度の仕組みは伝建地区内のすべての建造物が対象となり、伝統的な様式で建てられた特定物件と非特定物件があり、特定物件は歴史的重要な建造物として、原則、取り壊し不可、内部に関しては改修可能だが、外観については調査の上、伝統的形式を回復するための復元修理としている。一方、非特定物件は外観に地区の特性を反映して修景基準が定められている。屋敷構えというと、社家(御師家)：

宿坊の屋敷と在家：農家や商家で大きく分けられる。お昼をいただいた極意家は社家で特定物件になり、登録有形文化財としても登録をしている。入母屋造の茅葺で、玄関を入れて正面に神殿があるのが戸隠の宿坊の特徴で、塚原さんより詳細な説明をしていただいた。また、神原



宿坊極意家で昼食

家は今年度より修理が開始されちょうど今は足場がかかった状況でした。非特定物件に関しては修景基準が定められており、例えば「エリア内の周囲の伝統的建造物に合わせる」であったり「色は茶系又は黒色とする」等の文言で示されているが、住民から実際にどのように直していくのが良いのかという問い合わせが多いことを受け、昨年、北信エリアのヘリテージマネージャーを中心に社家や、在家等の修景を具体的な絵にすることによって、修景事業を進めやすくしていくガイドラインを1年かけて作成している。今年冊子になり、皆さんの手元に届くようですが、そのイメージに従って、山口屋さんは補助金に頼らず自費で改修工事を行っている。修理事業には多額の費用と時間を要するため、長い年月がかかる。徳武家や中社学習館はワーケーションの場として検討が進められているなど、地域の方々と行政が一体となって少



まちなみ見学中

しずつ戸隠の歴史を未来につなげつつ、これからの活気のある戸隠を作り出していこうと感じました。

新入会員紹介

正会員

株式会社宮本忠長建築設計事務所 久米 勇一



2021年夏のセミナー長野県立美術館見学/技術交流会から参加・入会いたしました、久米勇一と申します。武蔵工業大学を1985年に卒業、宮本忠長建築設計事務所に入社36年目となりました。ホームページより「JIAのおもな活動」「歴史」「建築家憲章」を知り、建築を目指し歩み始めた頃の純粋な気持ちを思い緊張感からか手に汗を握りました。

初心に経ちかえり社会の為、「たゆまない研鑽」と「倫理の堅持」を自らの課題として貢献してまいりたいと思います。JIA長野県クラブ皆様の精力的で中味の濃い活動に対して目を見張っており、自分ひとりではできないことを皆様と共に在ることで少しでも実現できればと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

法人協力会員

有限会社エムケーワイ 専務取締役 山田 啓介



弊社は平成13年創業以来、体育施設・文教施設における内装床システム・内装緩衝壁システムをメインに、体育器具や遊具の提案・販売施工をさせていただいております。

体育施設におきましては先日に開催されました東京オリンピックでの日本人選手の活躍で、競技者に限らず一般の方のスポーツへの関心が高まっており、弊社といたしましては最先端で高水準のもとも、安心安全にスポーツを楽しめるような施設の設備を提案できるよう努力してまいります。

新たな出会いと今までの経験を活かし、皆様のお役に立てるよう活動していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

開催したイベント

- 5月21日(金)・・・地域材を考える
- 7月30日(金)・・・夏のセミナー
- 8月10日(火)・・・幹事会(第2回)
- 技術交流会、建築家の日常を語る会
- 9月14日(火)・・・長野県林業大学校構造見学会

今後の行事予定

- 10月12日(火)・・・仕事を語る会
- 11月9日(火)・・・幹事会(第3回)
- 12月3日(金)・・・冬のセミナー
- 1月11日(火)・・・幹事会(第4回)
- 2月26日(土)～27日(日)・・・建築祭
- 3月25日(金)・・・信州の建築家とつくる家「第17集」発刊予定

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集後記

第5波少し手前。無事開催された夏のセミナーに参加し、初めて県立美術館に訪れました。建築家の思いと施工者の技術から誕生した見事なまでの納まりの数々に感心します。こういうことは、生で体感するのが一番だと思いますが、杉山氏からは見える部分からは読み取れない、内面の技術的な記事をいただきました。まだ見学されていない方は、今回の記事を一読いただいで施設を見に行けば、また違った見え方になるかと思ひます。……………鈴木 敏之



編集人/鈴木 敏之 発行人/新井 優
発行所/JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内
TEL : 026-232-3897 FAX : 026-232-5303
<http://www.jia-nagano.com>
E-mail info@jia-nagano.com